

桑原小だより

平成28年12月15日

桑原小学校長 小川和彦

全国学力学習状況調査の結果について No.2

9月末に公表された全国学力学習状況調査について、本校の状況やその後の取組み等について、その概要を3回に分けてお知らせします。今回は、2回目です。

今回は、結果に影響した、学校や家庭での生活習慣などについて、ご説明します。

新聞社が手前味噌に述べているとも言えるかもしれませんが、それでも、無視できないのは、新聞を読むことの重要性です。全国的に、正答率との相関関係が高い項目です。そして、全国と同様に、桑原小学校でも、新聞を読んでいる割合は、非常に高い結果となっています。このことが、国語はもちろんですが、算数の文章を読む上でも大変に役に立っていると感じます。

新聞記事は、主に出来事についての客観的な説明が書かれています。出来事の状況や背景、また、その出来事についての影響や受けとめ方などについて書かれています。こともあります。

国語や算数の文章問題は、質問をする前に、様々な説明がなされます。この説明が読めないと質問には答えられません。新聞記事のような文章を読む習慣があるほど、学力が高くなることは、当然のこととも言えそうです。

同様に話題になるのが、読書です。これも、学力との相関関係があることが指摘されてきました。この点については、桑原小学校もやや課題がみられます。

読書については、学力のみならず、子ども達が社会に出た時にも、財産とできるものだと思います。



学校、家庭で力を合わせて、読書の習慣を子ども達に身に付けたいものだと思います。参考となるパンフレットを併せて配付いたしましたので、ぜひとも、ご一読ください。学校では、図書館の本を新しくすることや子ども達が興味関心をもつことができる種類の本を入れること、また、

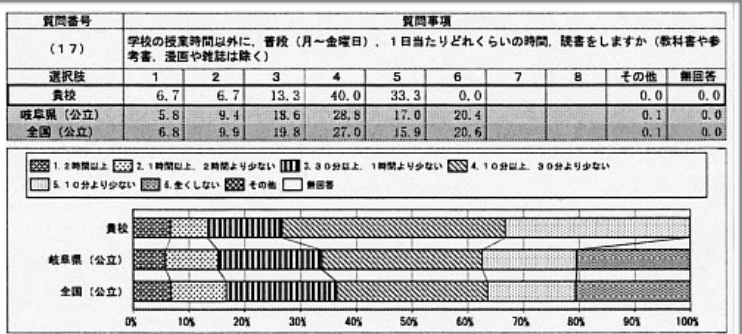
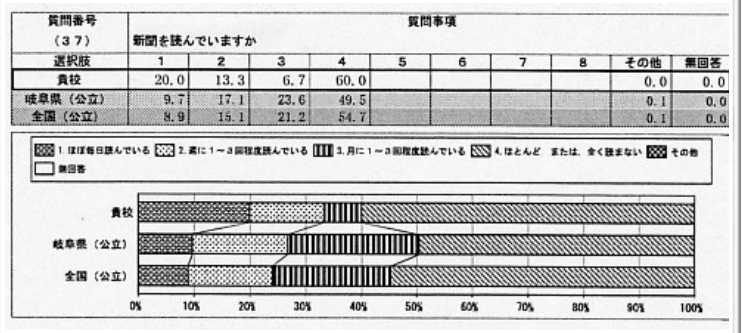
新聞を読む児童生徒の割合と、テストの平均正答率

小学校					
新聞を読む頻度		国語A	国語B	算数A	算数B
ほぼ毎日読む	9.0%	79.1%	64.8%	83.5%	54.3%
週に1～3回程度読む	15.2	77.7	63.3	82.2	52.2
月に1～3回程度読む	21.2	74.0	59.1	78.6	48.0
ほとんど、または、全く読まない	54.5	70.4	55.1	75.3	44.7

中学校					
新聞を読む頻度		国語A	国語B	数学A	数学B
ほぼ毎日読む	6.7%	80.3%	73.1%	69.4%	51.9%
週に1～3回程度読む	12.0	79.6	72.5	68.3	50.5
月に1～3回程度読む	17.6	77.0	68.8	64.4	46.4
ほとんど、または、全く読まない	63.5	74.7	65.1	60.7	42.5

新聞読むと高い正答率

全国学力テストの正答率と新聞を読んでいるかどうかの関係を調べたところ、ほぼ毎日読んでいると答えた児童生徒の方が、週に1～3回程度、月に1～3回程度読む、あるいは「ほとんど、または、全く読まない」という児童生徒より正答率が高い結果となった。分析によると国語Bの平均正答率は、「ほぼ毎日」の小6が64.8%、中3が73.1%。これに対し、「週に1～3回程度」の小6は63.3%、中3は72.5%、「月に1～3回程度」の小6は59.1%、中3は68.8%、「読まない」の小6は55.1%、中3は65.1%と、読む頻度が高くなるほど正答率も高くなり、他教科も同様だった。



興味関心をもつことができる種類の本を入れること、また、